決裁	議 長	局 長	主　事

受付

報　告　書

平成　　年　　月　　日

湯前議会議長　　山下　力　様

湯前町議会議員

議員として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期　間	平成２９年５月１６日（火）
場　所	西都市、西米良村、湯前町 ※西都市（出発式）　→　湯前町（解散式）
目　的	国道２１９号現地調査（三市町村議会国道整備促進合同協議会）

報告の内容

◆研修内容　**※遠坂議員が代表して報告**

１．工事概要

・西都土木事務所と球磨地域振興局の案内で、三市町村（熊本県湯前町・宮崎県西米良村・西都市）議員による国道２１９号の現地調査を行った。

・国道２１９号は、熊本市から宮崎市に至る九州中央山地沿線の経済活動を支える大動脈として重要な幹線道路（約２００ｋｍ）。

・平成３０年度は、全体で４工区を計画。

・整備も年々進んでいるが、特に西米良村から西都市区間において未整備／未改良部分がまだ多く残っている。改良率は、約７１．５％。

・湯前町は用地買収が難航している。

２．今回視察した工事区間（４工区）

(1) 国道２１９号　湯前上里歩道整備工事【湯前町】

・整備延長３００ｍ。

・総事業費は約３億円（平成２８年度事業費は、用地買収で７００万円）。

・事業期間は当初平成２４年～２８年度だったが、平成３１年度になった。

用地交渉が２～３件残っている。
・平成２９年度は、引き続き建物調査、用地買収を実施予定。

［　↑湯前上里歩道整備（右側歩道）　］

(2) 国道２１９号小春工区【西米良村】
・整備延長１．７ｋｍ、幅員７ｍ（車道部５．５ｍ）の拡幅整備。
・第２トンネル（４８３ｍ)は平成２９年度に着工、２号橋(６９ｍ)は既に着工中。

［　↑小春工区の第２トンネル予定地　］

(3) 国道２１９号越野工区【西米良村】　※H29～
・整備延長７８０ｍ、幅員７ｍ（車道部５．５ｍ）の拡幅整備。
・平成２９年度は、主に調査設計を行う。

(4) 国道２１９号岩下工区【西都市】
・整備延長１．０ｋｍ、幅員７ｍ（車道部５．５ｍ）の拡幅整備。
平成３３年度に完成予定。
・岩下トンネル（６１１ｍ）は平成３０年度以降に着工、岩下橋（８４ｍ）は平成２９年度に着工予定。
・高低差が７０ｍ～８０ｍあり、トンネルを直線的に結ぶことができない。

［　↑岩下工区のトンネル予定地（道先）　］

［　↑越野工区の工事予定地　］

(5) その他　・・・西米良村　土砂災害現場
・３月３日と３月７非に崩壊。※雨は降っていなかった。
・４月17日17時　通行止め解除（片側）
・昨年の土砂崩れは２，０００㎥で、今回は7,000㎥。
・災害復旧に時間を要する。

［　↑西米良村商店街から西都市へ数百メートル地点　］

３．まとめ

・国道２１９号の宮崎県内区間約７０ｋｍのうち、西米良村～西都市区間は約６０ｋｍ、その内の約３割が未整備／未改良区間であり、緊急輸送道路、観光道路、産業道路として十分に機能していない状況にある。

・宮崎自動車道は築３０年を過ぎ、南海トラフ地震などで高速道路が通行止めになった場合、国道２１９号は重要な緊急輸送道路となる。熊本地震の教訓からも、道路インフラの重要性を改めて感じる。

・本協議会において国道２１９号の重要性を３市町村で共有し、今後も国・県に対して道路整備の要望を続けていくことを確認した。